

株式会社 堀場製作所

2019年12月期 第1四半期決算 電話説明会資料

常務取締役 管理本部長

大川 昌男

2019年5月14日

説明内容

1. 2019年12月期 1-3月実績
2. 2019年12月期 上期・通期業績予想
3. 為替の売上高・営業利益への影響
4. 営業利益分析(前年同期比較)
5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費
6. その他トピックス

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

1-1. 2019年12月期 1-3月実績

(単位:億円)

1-3月実績 半導体と自動車の販売減少により減収減益

	2018年 1-3月実績	2019年 1-3月実績	対前年同期増減	
			金額	率
売上高	526	453	▲ 73	▲ 14%
営業利益	91	44	▲ 47	▲ 52%
営業利益率	17.5%	9.8%	▲ 7.7p	
経常利益	89	43	▲ 46	▲ 52%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	61	25	▲ 36	▲ 59%

為替 レート	USDドル	108.22	110.22	+2.00
	ユーロ	133.14	125.16	▲ 7.98

1-2. 2019年12月期 1-3月実績 [セグメント別]

(単位:億円)

		2018年 1-3月実績	2019年 1-3月実績	対前年同期増減	
				金額	率
売上高	自動車	180	162	▲ 18	▲10%
	環境・プロセス	49	47	▲ 1	▲3%
	医用	66	63	▲ 3	▲5%
	半導体	164	115	▲ 49	▲30%
	科学	65	64	▲ 1	▲2%
	合計	526	453	▲ 73	▲14%
営業利益	自動車	26	9	▲ 17	▲65%
	環境・プロセス	6	4	▲ 2	▲31%
	医用	5	2	▲ 3	▲62%
	半導体	54	27	▲ 27	▲50%
	科学	▲ 0	0	+1	-
	合計	91	44	▲ 47	▲52%

<自動車>

日本において、排ガスビジネスの販売減少

<環境・プロセス>

アジアでの大気汚染監視用分析装置の販売減少

<医用>

欧州での血球計数装置の販売減少

<半導体>

半導体メーカーの設備投資調整を背景に販売減少

<科学>

円高ユーロ安による売上高の円換算額減少
米州における一時経費の剥落により営業利益黒字化

2-1. 2019年12月期 上期・通期業績予想

(単位:億円)

半導体市況の下期回復を見込み、
売上高・利益および配当予想に変更なし(上期・通期)

	2019年上期			2019年通期			
	前回予想 (2/12時点)	今回予想 (5/14時点)	差額	前回予想 (2/12時点)	今回予想 (5/14時点)	差額	
売上高	960	960	-	2,180	2,180	-	
営業利益	105	105	-	290	290	-	
営業利益率	10.9%	10.9%	-	13.3%	13.3%	-	
経常利益	103	103	-	285	285	-	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	70	70	-	200	200	-	
為替 レート	USDドル	110.00	110.00	-	110.00	110.00	-
	ユーロ	125.00	125.00	-	125.00	125.00	-

2-2. 2019年12月期 上期・通期業績予想 [セグメント別]

(単位:億円)

		2019年上期			2019年通期		
		前回予想 (2/12時点)	今回予想 (5/14時点)	差額	前回予想 (2/12時点)	今回予想 (5/14時点)	差額
売上高	自動車	360	360	-	850	850	-
	環境・プロセス	100	100	-	200	200	-
	医用	140	140	-	280	280	-
	半導体	230	230	-	550	550	-
	科学	130	130	-	300	300	-
	合計	960	960	-	2,180	2,180	-
営業利益	自動車	30	30	-	90	90	-
	環境・プロセス	10	10	-	20	20	-
	医用	10	10	-	20	20	-
	半導体	55	55	-	150	150	-
	科学	-	-	-	10	10	-
	合計	105	105	-	290	290	-

上期・通期業績予想据え置き、
セグメントでも変更なし

<自動車>

自動車排ガス規制の世界的な強化により、
アジアを中心に需要は堅調
2018年9月に買収したFuelCon社の事業が
通年で寄与

<半導体>

年後半からの市況回復、販売増加を見込む

3. 為替の売上高・営業利益への影響

2019年1-3月期 為替影響額(前年同期比)

売上高 ▲7.2億円 営業利益 +0.0億円

為替感応度(2019年通期予想)

1円円高による売上高/営業利益の影響額

(億円)	売上高			営業利益		
	合計	USDドル	ユーロ	合計	USDドル	ユーロ
自動車	▲ 3.8	+0.3	▲ 2.5	+0.5	+0.0	+0.2
環境	▲ 0.4	+0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲0.0	▲ 0.1
医用	▲ 2.0	+0.1	▲ 1.5	▲0.0	▲0.0	+0.0
半導体	▲ 0.1	+0.8	▲ 0.1	▲0.0	+0.5	▲ 0.1
科学	▲ 0.7	+0.4	▲ 1.0	+0.0	+0.0	+0.0
合計	▲ 7.2	+1.8	▲ 5.6	+0.0	+0.5	+0.0

※アジア通貨等の影響により、上記2通貨の影響合計が全社での影響合計に一致していません。

売上高
USDドル ▲4.8億円
ユーロ ▲3.7億円

営業利益
USDドル ▲2.4億円
ユーロ ▲0.1億円

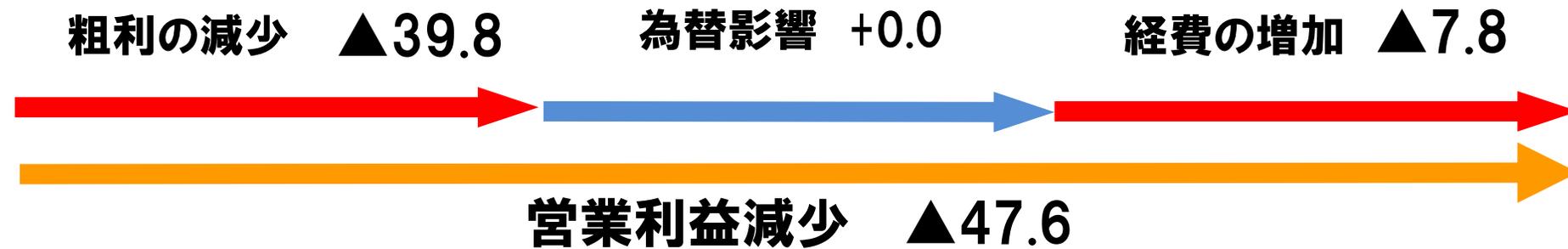
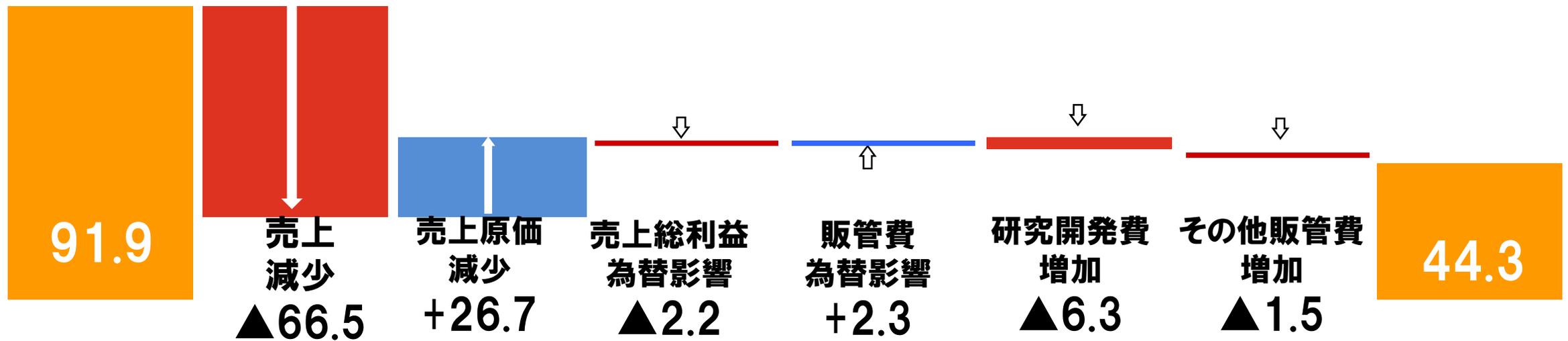
(円)	2018		2019	
	1-3月平均実績	1-12月平均実績	1-3月平均実績	1-12月予想
USDドル	108.22	110.44	110.22	110.00
ユーロ	133.14	130.35	125.16	125.00

4. 営業利益分析(前年同期比較)

(単位:億円)

2018年
1~3月実績

2019年
1~3月実績



5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

減価償却費の通期予想を5億円増加
設備投資および研究開発費は据え置き

	2018年	2019年通期予想			2018年 1-3月 実績	2019年 1-3月 実績
	通期実績	前回予想 (2/12)	今回予想 (5/14)	vs 前回予想		
設備投資額	102	160	160	-	29	23
減価償却費	72	75	80	+5	17	20
研究開発費	151	160	160	-	34	40
(対売上高比)	7.2%	7.3%	7.3%	-	6.6%	8.9%

6-1. Jobin Yvon 創業200周年

1819年創業



科学者・先進研究向け
製品に強みを持つ
Jobin Yvon

1945年創業



産業向けの計測器などで
強みのある
HORIBA

HORIBAとJobin Yvonの技術が融合
新たな市場を開拓してきた20年

分光分析



蛍光分光



グレーディング
(回折格子)



元素分析



Jobin Yvon(現ホリバ・フランス社)は、
HORIBAグループにおける分光分析技術の
中核会社として、光学分野をリードしている



HORIBAJOBIN YVON

Sharing Light and Passion

200 Years of Optical Innovation

ライフサイエンスなど
新市場向け製品や
アプリケーションの
開発を推進

6-2. 健康経営銘柄、なでしこ銘柄に初選定

(経済産業省/東京証券取引所)

～より良い働く環境の実現をめざした活動が株式市場関係機関から評価～



「HORIBAステンドグラスプロジェクト」
など、ダイバーシティ推進活動が評価

代表取締役副会長兼グループCOOの齊藤とステンドグラスプロジェクト推進室の勇が授賞式に参加（2019年3月22日）



「こころとからだの健康づくり」宣言に
基づく活動が評価

代表取締役社長 足立が授賞式に参加（2019年2月21日）

6-4. 中長期視点での対話促進のための取り組み

開示項目の見直しについて

➤ 見直し事項

**受注・受注残実績を非開示情報へ
(2019年12月期第1四半期より)**

➤ 見直し理由

**株式市場に過度の期待感を与える可能性を除外
中長期的視点からの対話をより重視**

6-5. 人とくるまのテクノロジー展 事業説明会・ブースツアー開催

(アナリスト・機関投資家向け)

HORIBA IR Day for Energy Solutions 2019年5月22日(水)

◆事業説明会（定員：50名） 時間：10時00分～11時00分

場所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1F「シルク」

◆ブースツアー（定員：10名） 時間：15時00分～15時40分

場所：パシフィコ横浜 弊社ブース内

概要：弊社自動車計測および科学事業責任者による、製品、市場状況、戦略の説明

申込：事前申込制とさせていただきます。

参加ご希望の方は、メールにてご連絡ください。

堀場製作所 経営管理部 IRチーム 宛 ir-info@horiba.com

人とくるまのテクノロジー展2019横浜
ウェブサイトにて事前登録をお薦めします →



<https://expo.jsae.or.jp/>

ご清聴ありがとうございました。